

科目	対象把握の技術				
時間数	1単位 30時間	授業方法	講義・演習	授業時期	1年
講師名	③八塚愛未 ③河本さやか ③中山彩				
実務経験	③看護師(医療機関)				
ねらい	看護を展開するために、対象を総合的に把握する方法を学ぶ。				
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象を総合的に理解し看護を展開するために必要な観察の意義と方法について理解できる。 (フィジカルアセスメント) 2. 身体計測の方法を学ぶ。 3. 看護実践における記録・報告の意義と方法を学ぶ。 4. 看護におけるコミュニケーションの重要性を理解すると共に、効果的で具体的な方法を学ぶ。 5. バイタルサインの意義が理解し、正常・異常の判断ができる。 6. 体温・脈拍・呼吸・血圧の測定が出来る。測定値のアセスメントが出来る。 				
授業計画					
回	内容				
1～2	コミュニケーション				
3～11	ヘルスアセスメント ・健康歴とセルフケアの能力のアセスメント ・フィジカルアセスメントに必要な技術 ・バイタルサイン測定・記録の方法・援助記録の作成 ・系統別フィジカルアセスメント ・身体計測 ・心理社会面のアセスメント				
11～12	実技テスト(バイタルサイン測定)				
13～14	実技テストの振り返り・まとめ				
15	筆記テスト				
評価方法	その時間数の3分の2以上の出席者に限り受験資格を与える。 学科終講時に行う筆記試験70%、実技テスト20%、記録物提出状況10%、その他オンライン教材取り組み状況10%を総合して評価する。実技試験の合格かつ筆記試験60%以上の取得、総合60点以上を及第点とする。				
教科書	基礎看護学②基礎看護技術Ⅰ:医学書院 根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術 第2版:医学書院				